

YU-INFORMATION

No.123

山口大学広報誌

7

2015

Special Feature

ボクたちノ

ライフ



YU-INFORMATION  
No.123  
山口大学広報誌

## contents

# 02

今月の特集

## ボクたちノライフ

- 03 Life Style
- 05 Life Data
- 07 Other Life Activity
- 09 Other Life Spot
- 11 OB・OG Life Style

## 13 What's New? YU-PRSS

## 14 EVENT SCHEDULE

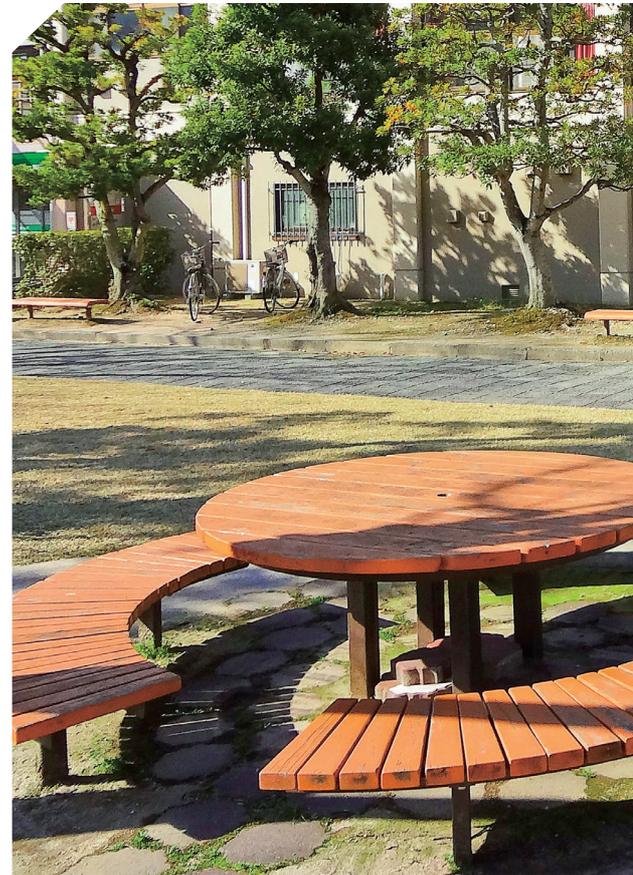
文責：株式会社 無限



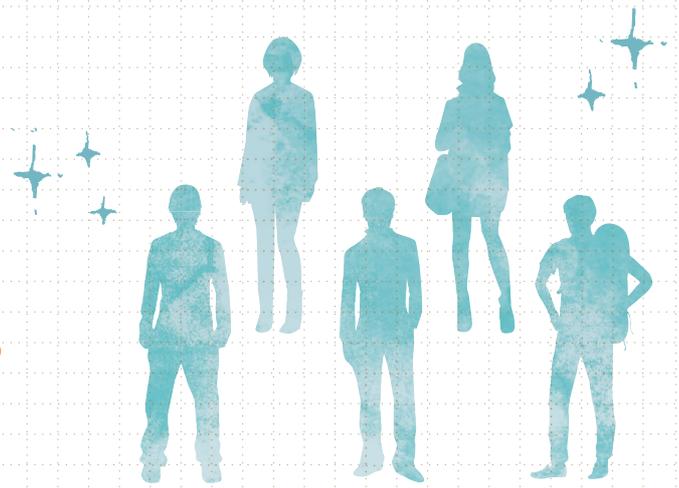
## cover story

[今月の表紙]

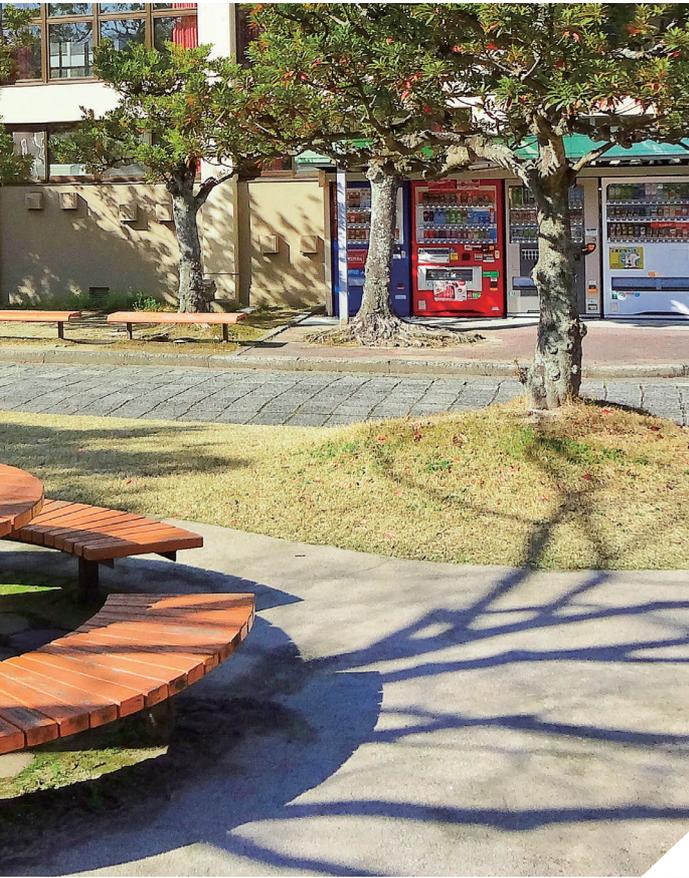
陸上グラウンドとラグビー場の間に、教育学部と附属特別支援学校を結ぶおよそ200メートルの小道があります。ベンチや鳥の巣箱が配置され両側に並木が連なるこの道は、これからの季節には、深い緑色のトンネルになり、日差しを和らげ心地よい風が吹き抜けます。大学の外の喧騒とは切り離され、不思議な雰囲気を感じるこの道ですが、談笑しながら講義へと向かう彼らにとっては日々変わらない「ボクたちノライフ」のひとつです。



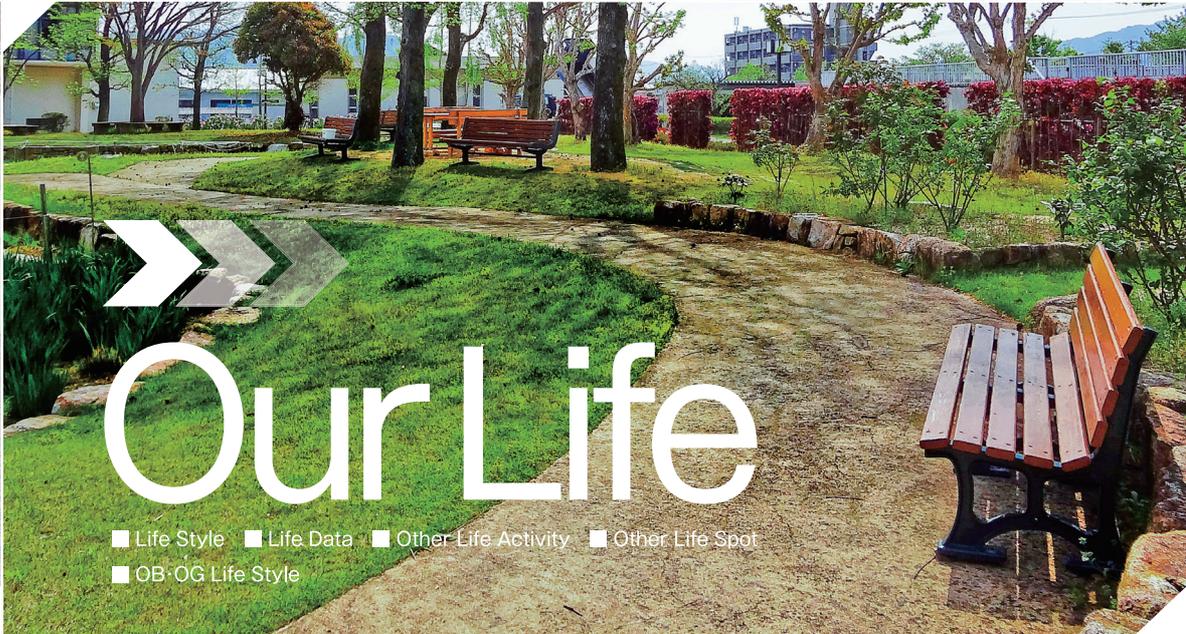
ボクたちノ  
ライフ



今の山口大学で流れている  
空気感を伝えます。



オープンキャンパスで実際に体験するか、  
誌面から感じる雰囲気確かめに来るか。  
「ボクたちノライフ」をリアルなコトバで  
紹介します。



# Our Life

- Life Style
- Life Data
- Other Life Activity
- Other Life Spot
- OB・OG Life Style



# Life Style

▶▶▶  
 人文学部 言語文化学科 3年  
 村井 綾香 さん  
 【山口県出身】

サークル活動を通じて  
 友達の輪が広がりました！



**山** 口大学は、人文学部、教育学部、経済学部、理学部、医学部、工学部、農学部、共同獣医学部、国際総合科学部の9学部を擁する地域の基幹総合大学です。吉田キャンパス、小串キャンパス、常盤キャンパスという、3つのキャンパスから成り、それぞれ特色ある施設がレイアウトされています。

日本各地から集まった個性ゆたかな学生、異なる文化や価値観をもつさまざまな人々と交流ができるのは、総合大学である本学ならではの魅力です。同じ夢をもつ仲間、あるいは違う分野で活躍する仲間との出会いは、大きな財産となるはずです。

また、サークルや課外活動など、勉強以外のフィールドも広がっています。大学時代をどう過ごすかは自分次第。たくさんの刺激を求めて、先輩たちはさまざまな分野で活躍しています。そこで、山口大学のリアルな空気感をお届けするために、在学生の皆さんにインタビューを行いました。



お気に入りのアイテムは何ですか ?

普段どんな風に暮らしてますか ?



毎年、オープンキャンパスの後にみんなで寄せ書きをする、「CAMゼミ」伝統のTシャツです。思い出がいっぱい詰まった宝物です。

ネコより暇な人文学部という噂はウソ！ゼミの発表など、きちんと取り組もうとすると準備が大変です。一つの課題をこなすためには、複数の文献を読み、さまざまな事柄を関連づける力が必要となります。大学の学びは奥が深いなとつくづく感じます。勉強以外で熱中しているのはサークル活動です。「CAMゼミ」に所属し、オープンキャンパスやイベントの企画運営に携わっています。高校生の皆さんや地域の方々に、山口大学の魅力をたくさんお伝えしたいと思っています。

# ボクたち流、山大ライフ。日々の楽しみ方を教えます！



農学部 獣医学科 5年

倉地 淳也 さん

【愛知県出身】



夢をかなえるために  
社会人からの編入を決意！



教育学部 学校教育教員  
養成課程 1年

烏田 苑実 さん

【山口県出身】



美術が好きな仲間と一緒に  
楽しい研究室ライフを過ごしています。



医学部 保健学科 1年

房野 仁美 さん

【岡山県出身】



学生主体のカフェ運営に参加。  
好奇心をカタチにできる場所です



父母の影響で始めたスキューバダイビングが趣味です。山口県にはダイビングにうってつけの青海島があるのでうれしいですね。



大好きなクリエイター・宮島亜希さんから、大学の合格祝いに送っていただいたポストカード。今も大切にしています。



受験勉強を共に乗り越えた高校時代の友達に、誕生日のお祝いとしてもらった小物入れです。大切な物を入れて持ち歩いています。

小さいころから獣医師への憧れを抱いていたものの、大学では心理学を専攻し、一旦別の道を歩きました。卒業後、就職をしましたが、どうしても夢を諦めきれず、山口大学の学士編入試験を受けました。私にとって本学は、人生の再スタートを切る特別な場所です。獣医師の活躍の場は広いので、動物の体のつくりや病気、公衆衛生、微生物など、学ぶことが多くて大変ですが、その分やりがいもあります。将来は、学びを生かして、動物病院の勤務医になりたいと考えています。

好きな美術やデザインを学びながら、教員免許も取得できることに魅力を感じ、本学部に進学を決めました。学内の雰囲気が自由なので、毎日が楽しく充実しています。授業の空き時間は、美術教育研究室で過ごすことが多いですね。居心地が良くて、つい長居をしてしまいます。先輩の書き込みが自由に閲覧できるノートが置いてあり、とても参考になります。研究室の仲間は、魅力的で面白い人ばかり。以前、手作りのケーキで誕生日のお祝いをしてもらって、とても感激しました。

在学中に細胞検査士の資格を取得できることに魅力を感じて、本学への進学を決めました。広々とした吉田キャンパスには、充実した学生生活を送るための施設や設備が整っています。中でもお気に入りは、図書館内の「りぶカフェ」です。サービスやメニュー開発など、学生が企画・運営を手掛けており、私もメンバーの一人として参加しています。この活動は「おもしろプロジェクト」※にも採択されているんですよ。皆さんも、休憩や交流の場として、ぜひ利用してください！

※学生の自主的活動への山口大学の資金支援制度

# Life Data

大

学には、高校までと違い全国から学生が集まってきます。山口大学においては、ここ数年は山口県出身者は入学者の27~28%で推移しています。

北は北海道から南は沖縄まで47都道府県で入学者がいないのは東北の3県くらいです。九州沖縄と山口を除く中四国はほぼ同じ比率で、両方を加えると、九州沖縄・中四国17県で入学者全体の85%を占めています。

意外とグローバルな環境であることが分かります。今回は山口大学に在籍している学生のおよそ1000人にアンケートを行いました。回答者の県外出身比率が9割と、実績データより多いのが特徴です。アンケートに回答いただいたみなさん、ありがとうございます。

大学生になると、どんな生活が待っているのでしょうか。親元を離れて初めて一人暮らしをする人は、期待と不安が入り交じってドキドキ…。普段の勉強は？授業以外の時間はどう過ごしているの？学生生活を彩る楽しみは？気になる山大生の普段の暮らしぶりを、代表的なデータでチェックしてみました。これを見れば、山大生の“今”がなんとなくつかめるかも！？

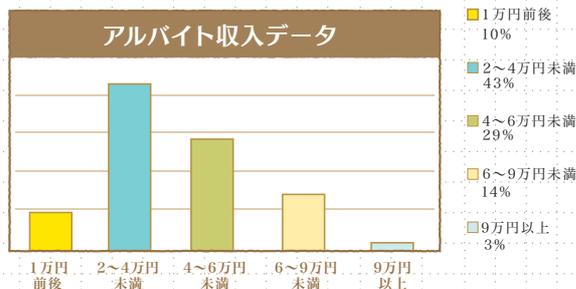
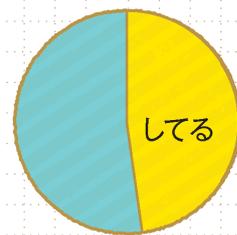
さらに、リアルな大学生活をお伝えるため、先輩たちにいくつか質問を投げかけてみました。大学の生活は高校までと違うことだらけ。実態を知り、大学生活をエンジョイするための傾向と対策を立ててみてください。来春から始まるかもしれない山大ライフの参考にしてくださいね！



## Questionnaire

### アルバイトはしてる？月の収入はいくら？

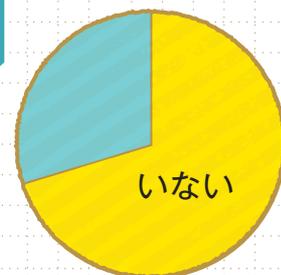
アルバイトをしているのは47.8%していないのが52.2%でほぼ半数の学生がアルバイトをしています。その収入は、2万円~4万円が43%で一番多く、4万円~6万円が29%、6万円~9万円が14%と続きます。アルバイトも大切な社会勉強。トライしてみるのもいいかも…



### 彼氏・彼女はいる？

今回の回答者では、お付き合いしている彼・彼女がいるのは30%、いないと回答した学生が70%でした。恋愛よりも優先したいことがあるという表れでしょうか？自分を成長させるためには恋愛経験も必要だと先輩も言ってますよ(本誌P.12)

恋人関係に限らず、大学時代に育んだ友人関係は一生の付き合いになるので、顔を見て話せる友人を作っていきましょう。



### 山口大学のどこが好き？

自分を刺激する人との出会いがたくさんあります

経済学部 国際経済学科 3年  
中村 真梨那 さん【熊本県出身】



山大は県外出身者が多いため、たくさんのお会いや発見があります。さまざまな地方の方言が聞けるので、とても新鮮です。それまで当たり前だと思っていたことが実は当たり前ではなかったり、それぞれの地域の“あるある話”が聞けたりと、たくさんの刺激を受けています。高校時代は仲の良い友達同士で過ごすことが多かったのですが、大学では友達のつながりやサークル活動、アルバイトなどを通じて、交友関係がものすごく広がりました。休みの日は、ご飯を作ったり、ホームパーティーを開いたり、友達と家で過ごすことが多いですね。朝までノンストップでおしゃべりに花が咲くこともあります。たくさんのお仲間と友情を深めながら、今しかない学生生活を満喫しています！

### 放課後や週末は何してる？

友達や先輩と過ごす時間が何よりの楽しみ！

農学部 生物資源環境科学科 1年  
佐藤 綾夏 さん【長崎県出身】



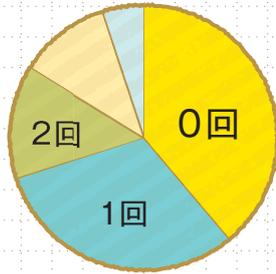
図書館にある「アカデミックフォレスト」をよく利用しています。机や椅子、ホワイトボードなどを自由に配置できるのでとても便利です。友達同士で集まり、議論をしたり、勉強を教え合ったりする場として利用しています。また、体育会水泳部に所属し、放課後は練習に励んでいます。普段は自炊をすることが多いのですが、練習後は先輩に連れられて「番茶屋」で食事をすることもあります。オススメは安くボリューム満点の定食です。週末は、友達と一緒に過ごすことが大半です。キャンパス周辺に住んでいる友達が多いので、毎週誰かの家に泊まっています。カードゲームをしたり、たこ焼きパーティーをしたり、友達同士でわいわい楽しんでいます。友達と過ごす時間が何より楽しいですね。

# キャンパスのみんなは、こんな感じで過ごしています。

## コンパは月に何回ある？

アンケートをお願いした時期が、茶話会や新歓コンパのピークを過ぎていたせいか、0回という回答が39%と一番多く、1回が31%、次いで2回が14%でした。近くに湯田温泉があり、最近は洒落た飲食店も増えてきました。

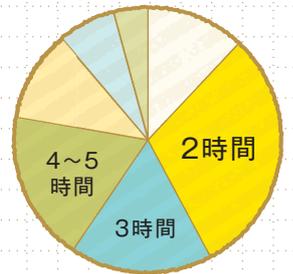
友人の部屋に集まり、いろいろな事を話し、考える時間を持つのは学生時代の特権です。周りに迷惑が掛からない程度に、議論をし、たくさんの人達と交流してください。



■0回 39% ■1回 31% ■2回 14% ■3回 11% ■4回以上 5%

## 1週間の授業以外の勉強時間は？

意外？ですが2時間との回答が30%と一番多く、次に4～5時間が18%、3時間が17%でした。授業やバイト、クラブ活動で忙しい毎日を送っていると思いますが、0時間の人から20時間以上の人までバラツキがあり、一番多いのが2時間と…この結果、学生の皆さんはどう思うのでしょうか…。学年が上がり、研究室等で過ごす時期が来れば10時間以上は当たり前になります。今のうちにしっかりと準備をしておきましょう。



□1時間ぐらい 12% ■2時間 30% ■3時間 17% ■4～5時間 18%  
■6～7時間 11% ■8～9時間 7% ■10時間以上 4%

## 通学には何を使ってる？

自転車が最多の76%でした。山口県は公共交通の手段が多くない環境なので、生活には必須なツールでもあります。次いで徒歩の14%、自宅生に多い車が5%でした。山大周辺は少しずつ発展していますが、下宿と大学のほど良い距離感には、これからも自転車の優位は変わらないでしょう。

いくつか組合せている学生には複数回答可としました。



■自転車76% ■徒歩 14% ■車 5% ■JR 2.5%  
■バイク/原付 2% ■バス 0.5%

## 月の仕送りの金額は？

6万円未満と回答された学生が58%と一番多い結果でした。次いで6万円～7万円が13%、7万円～8万円は9%でした。山口は物価が安く、暮らしやすいので学生生活にはとても良い環境であると言えます。足りない分は知恵と工夫でやり繰りしていくことも大切な経験になるでしょう。

おもに一人暮らしの学生が対象です。※仕送りの額には家賃は入っていません。



■6万円未満 58% ■6～7万円未満 13% ■7～8万円未満 9%  
■8～9万円未満 8% ■9～10万円未満 6% ■10万円以上 6%

## お気に入りの学食は？

バラエティー豊かなメニューがたくさん！学食は元気の源です。



工学部 知能情報工学科 1年  
吉川 輝敬 さん 【福岡県出身】

吉田キャンパスには「ポーノ」と「きらら」の2つの学食があり、どちらも学生に人気です。私は、大学生協のミールカードを持っているので、「ポーノ」をよく利用します。ミールカードを利用すれば、毎日一定金額分の食事がとれるので、食費を気にする心配がありません。親元を離れて一人暮らしをしていると、栄養の偏りが気になりますが、味付けから栄養バランスまで気配りがされているので安心です。実は、入学時の健康診断で血圧が高いと診断されたため、塩分の摂り過ぎを気にしています。レシートには、塩分やカロリー表示など、栄養管理に役立つ情報があるのでとても助かります。それに、メニューは毎週変わるので飽きることがありません。学食は我々学生の強い味方です！

## お気に入りの場所は？

気軽に温泉を楽しめる足湯がオススメ！



国際総合科学部 国際総合科学科 1年  
成松 香織 さん 【福岡県出身】

学内のお気に入りの場所は、共通教育棟にある自主活動ルームです。ここで「おもしろプロジェクト」※に関する情報や、これから募集されるボランティアなどを定期的にチェックしています。また、「火曜日ご飯」に参加しています。留学生と一緒に昼ご飯を食べながら、さまざまな情報を交換しています。隣には談話スペースもあるので、友達とよく利用しています。

学外のお気に入りの場所は、湯田温泉の足湯です。買い物ついでに気軽に温泉を楽しめるのがうれしいですね。全部で7カ所あるので、全て制覇したいと思っています。ちょっと足を延ばして、角島や萩にも行ってみたいですね。山口は自然や歴史に関する見所が満載なので、在学中にあちこち訪れてみたいと思っています。

※学生の自主的活動への山口大学の資金支援制度

## Other Life Activity

## クラブ&amp;サークル紹介

公認サークルや同好会等、200を超える団体があり、多くの学生が参加しています。



サークル&amp;クラブ紹介

01

ボート部

風を切って疾走する爽快感、  
勝利の喜びを共に味わおう！

もうすぐ創部50周年を迎えるボート部には、現在60名程度の学生が在籍しています。船を漕ぐ漕手(ローヤー)や船の舵をとる舵手(コックス)といったプレイヤーのほか、部の運営や食事の準備を担当するマネージャー、練習ビデオの撮影やトレーニング補助を担当するサポーターなど、さまざまな役割があります。

ボート競技は、レースごとに決められた距離を漕ぎ、その速さを競うシンプルな競技です。日本ではカレッジスポーツの一つとして盛んで、世界的にもヨーロッパを中心に競技人口の多いスポーツです。オリンピックでは第1回アテネ大会から採用されている歴史のある種目です。

ボートは「究極の団体競技」といわれています。漕手(ローヤー)がどれだけ力を合わせて進めることができるかが試される競技です。また、舵手(コックス)は、舵を取ることで進路を正し、漕手(ローヤー)に声をかけることで、レース中に他の艇と駆け引きをします。クルー全員の気持ちがひとつになったとき、艇が風を切って水面を滑っていく爽快感は格別です。これはボート部でしか味わえない感覚だと思います。

部の目標は、毎年8月に行われるインカレ(全日本大学選手権大会)で、表彰台に立ち、メダルを勝ち取ることです。そのために、日々厳しい練習を行っています。近年は、全国大会での入賞、山口県代表として国体への出場を続けています。頑張れば全国を舞台に活躍できます。仲間とつらい練習を共に乗り越えた先には、真の喜びが待っています！



人間的にも  
大きく成長できる  
場です！



工学部 社会建設工学科  
3年  
ボート部副将

小林 篤 さん

合宿所で日々寝食を共にするため、先輩や後輩、男女も関係なく、部員同士が家族のような存在となり、卒業後も一生付き合う関係になれます。遠方からでも試合の応援に駆けつけてくださる熱心なOB・OGの方々も多く、世代を超えてひとつのチームとして活動しています。自由な大学生活の中で、今しかできないことをボート部で体験してみませんか？ より多くの方が、ボート競技や本学ボート部に興味を持ってくれるとうれしいです。



## サークル&amp;クラブ紹介

02

## CAMゼミ

今から約10年前に立ち上がったサークルです。主な活動内容は、オープンキャンパスの企画・運営、当日の誘導やブースの設置など。「やるときはやる!遊ぶときは遊ぶ!」を合言葉に、メリハリのある活動を大切にしています。昨年、先輩から言われて印象的だった言葉は、「無理して頑張って、いっぱい笑う」。オープンキャンパスの直前にテストがあるため、準備は本当に大変ですが、最後はみんな必ず笑顔になれます。終わった後の達成感や充実感が大きいので、とてもやりがいがあります。一連の活動を通じて、社会で役立つコミュニケーション能力や企画力、表現力など、さまざまな力も身に付けることができますよ!

この達成感は  
CAMゼミでしか  
味わえない!

経済学部 観光政策  
学科 3年  
CAMゼミ メンバー

山本 鈴香 さん



1年生の春からCAMゼミに参加しています。高校生が求めていることに応えようと、試行錯誤を繰り返しています。一方で、責任のある仕事を任せてもらえることにやりがいを感じています。皆さんが山大学生になったとき「CAMゼミに入りたい」と思ってもらえるような、印象に残るオープンキャンパスを企画したいと思っています。



## サークル&amp;クラブ紹介

03

## マンドリンクラブ

約60年前に創設されたマンドリンクラブは、歴史と伝統のあるクラブです。現在も、5年おきにOB・OGの方々と一緒に定期演奏会を行っています。週3日のペースで練習に励んでおり、たまに外部の講師をお呼びして、レッスンを受けることもあります。また、夏と春には合宿を行い、マンドリン音楽に没頭し、練習技術を磨いています。共同生活やレクリエーション活動を通じて、部員同士の信頼関係や交流を深めています。

マンドリンクラブの最大の魅力は、音楽経験の有無を問わず、誰でも大歓迎というアットホームな雰囲気にあります。初心者から経験者まで和気あいあいと楽しく活動をしています。

初心者でもOK!  
先輩がやさしく  
教えてくれます。

経済学部 経済学科  
3年  
マンドリンクラブ

小原 卓也 さん



それまで音楽経験がなかった私ですが、部のアットホームな雰囲気と、マンドリンの繊細で美しい音色にひかれて、入部を決めました。最初は楽器になれることに苦労しましたが、先輩が丁寧な指導をしてくださったおかげで、今では合奏や独奏を楽しめるようになりました。勉強以外にも学生時代を充実させたいのであれば、マンドリンクラブがおすすめです!



# Other Life Spot

## 山大生のお気に入りスポット

豊かな自然や歴史に彩られた山口ならではの素敵スポットを山大生が紹介します。



### 宇部市／ときわ公園

一年生のとき、同じ学科の先輩に誘われて、ときわ公園内にある常盤橋を屋外アートで彩る「橋アートコンペティション」のプロジェクトをお手伝いしました。先輩たちと交流を深めながら、作品作りに携わることができて、貴重な体験をさせていただきました。また、公園内にあるガーデンハウスを作るワークショップにも参加し、壁の一部を版築と呼ばれる工法で築き上げました。味わい深い独特の土壁は、今も見ることができます。ときわ公園は、私にとって特別な思い出のある場所となりました。

そのほか、工学部では、ここを舞台に「世界一大きな郵便ポスト」や「ペットボトルで作る世界一高い彫刻」といったプロジェクトに参加し、ギネス世界記録を樹立しています。ときわ公園は“挑戦する場”としてみんなの記憶に刻まれています。

挑戦することで  
将来の道が  
見えてくる！

工学部 感性デザイン工学科 3年  
杉本 昇吾 さん

【岡山県出身】

普段よく利用しているのは製図室です。ここで、建築やデザインについて友達と語り合っています。現在は、ビジュアルデザインについて学んでいます。将来は、学んだ知識や技術を生かして、地元を活性化させる広告関連の仕事に携わりたいと考えています。



## ドライブにおすすめ！

### 山大生に聞く山口のテッパン観光名所



📍 角島(下関市)

海外のリゾート地を思わせる、白い砂浜とエメラルドグリーン色の海が絶景！



📍 松下村塾(萩市)

吉田松陰が講師を務め、明治維新の立役者となった多くの逸材を輩出した私塾。



📍 秋吉台(美祿市)

日本最大のカルスト台地。夜の無音の秋吉台がおすすめといった声も！



📍 錦帯橋(岩国市)

錦川にかかる木造の五連アーチ橋。世界的にもかなり珍しい構造形式だそう。



## 山口市／瑠璃光寺五重塔

西の京・山口のシンボルともいえる、国宝の瑠璃光寺五重塔。全国に現存する五重塔のうちで10番目に古く、京都の醍醐寺、奈良の法隆寺とともに日本三名塔の一つに数えられています。境内は拝観自由。五重塔だけを見るなら拝観料は要りません。

夜間のライトアップ時に訪れると、昼間とは違い、とても幻想的な雰囲気に包まれます。以前、友達に誘われて、流星群を見るために自転車で出掛けたことがあります。真夜中だったため、ライトアップはされていませんでしたが、荘厳な雰囲気に包まれていました。もちろん、昼間に散策するのもおすすめです。山口に訪れたら、ぜひ一度足を運んでみてください！

将来は  
地震に関わる  
仕事に就きたい！

理学部 地球圏システム科  
学科 1年

横沢 祐太 さん

【福井県出身】

高校で地学を選択し、地震に興味を覚え、この学科に進学しました。基礎から学べるので、高校で履修していなかった人も安心です。たくさんの人々と触れ合うことで、方言や価値観の違いなど、初めて気づかされることもあり、とても勉強になります。



オープン  
キャンパスで  
会えるよ！

山口大学マスコット  
キャラクター

ヤマミイ さん

実は、ネコではなく妖精。密かに山口大学のファッションリーダーの座を狙っているのだとか。しかし、身に付けているのはバンダナだけと、本気でファッションリーダーを目指しているのが疑わしいところ。

【性格】素直で前向き。好奇心旺盛

【趣味】虫眼鏡でいろいろなものを見つめること

【特技】人懐っこく誰とでも仲良くなれること



## 山口大学創基の地(山口講堂跡)記念碑

今回、ヤマミイがみなさんに紹介したいスポットは、山口市内にある一の坂川交通交流広場の一角に設置された「山口大学創基の地(山口講堂跡)記念碑」です。

一の坂川交通交流広場は、今年の7月2日(木)にオープンした地域の活性化を目的とした広場で、イベント広場や噴水のある遊び場など様々なスペースがあります。

また、この広場のある場所は山口大学の起源となった「山口講堂」という塾があった場所でもあり、山口講堂が設立された1815年から今年で200年となったことを記念して、この碑が建てられることとなりました！

皆さんも山口市に遊びに来られたときは、この山口大学発祥の地にぜひ立ち寄りみてください！



# OB / OG Life Style

01

大隅 信枝さん  
OOSUMI NOBUE

教育学部教員養成課程 昭和35年卒 【山口県出身】

現在の活躍の場 「きらぼし男声合唱団」伴奏担当



## 山大に進学した理由を教えてください

ピアノを習っていたこともあり、小さい頃から音楽が大好きでした。地元の国立大学である山口大学を選んだのは、経済的な負担が少なく、実家から通える地理的環境だったため。もちろん、好きな音楽を職業にできること、音楽の素晴らしさを子どもたちに伝えられることに魅力を感じて、教育学部への進学を決めました。

## 在学中の思い出を教えてください。

一生懸命一つのことを打ち込む大切さを学んだ4年間でした。毎日、ピアノが少しでも上達するように必死で練習しました。一番大変だったのは、4年次の卒業演奏会です。長い曲を暗譜で弾くため、覚えるだけでも一苦勞でした。また、女声合唱団「フランウェン」に入部し、ピアノ伴奏を担当しました。活動を通じて、当時、男声合唱団「メンネルコール」に所属していた主人と出会い、卒業後に結婚しました。在学中、ピアノ講師のアルバイトも経験し、近所の小学生に指導しました。こうした学生時代のさまざまな経験が、自分を大きく成長させてくれたのだと思います。音楽教師となった後、そして定年退職した今でも、私の活動の源となっています。



## 卒業後の進路、現在の活動について教えてください。

中学校の音楽教師、そして教頭として38年間の教員生活を送りました。合唱のほか、吹奏楽の指導も手掛けるなど、いろいろな経験を通じて子どもたちと共に成長しました。生徒や保護者の方々の協力があったからこそ続けられたのだと感謝しています。現在は、「きらぼし男声合唱団」において、夫婦で歌唱指導と伴奏を手掛けています。下松市主催の「星のふるまち童謡フェスタ」には第1回から毎年出場を続けています。そのほか、山大OBによる「メンネルコール」の伴奏担当として、小学校や老人ホームでの慰問演奏を定期的に行っています。

## 後輩に向けて、メッセージをお願いします。

人生は一度きりです。失敗を恐れず、さまざまなことにチャレンジしてください。目の前のことに一生懸命に打ち込むことで、きっと何か次につながるはず。若さを大切に、やりたいことを精一杯楽しんでください！

02

玉上 晃さん  
TAMAGAMI AKIRA

人文学部 人文学科 昭和56年度卒 【山口県出身】

独立行政法人 国立大学財務・経営センター 理事



## これまでの道のりを教えてください

山大の卒業生である高校の先生から「日本史を勉強したいのなら、山大に偉い先生がいっぱいいる」という話を聞き、本学を志望しました。在学中は、先生方の研究室に出入りして、多くの刺激を受けました。卒業後は、大学職員を経験しましたが、上司の勧めもあって文部省(現 文部科学省)へ転職しました。その後、弘前大学、北九州市役所、九州大学、再度文部科学省を経て、現職に就きました。一貫して高等教育に携わってきたこともあって、自分では「大学人」を志向しています。教育は投資、大学は未来を切り拓く場です。この発展なしに未来はありません。私は、この仕事が心底好きです。この仕事を選んで本当に良かったと思っています。

## 現在のお仕事について教えてください。

周りの人に恵まれたおかげで、いろいろな仕事に携わってきました。現在は、大学病院の施設・設備の整備に必要な資金の貸付などに携わっています。仕事をする上で大切にしているのは、逃げないこと、手を抜かないこと。目の前の現実に対して全力を尽くすこと、その積み重ねを大切にしています。

## 今のお仕事に活かされている、学生時代の経験を教えてください。

国史学研究室に在籍し、読書と議論に明け暮れました。たくさんの本や史料を読み、先生や先輩方に論争を挑んでは論破されるという繰り返しがたまたま面白く、知の刺激をたくさん受けました。その後、職場でも同様でしたが、知識ある人々と出会い、その高い壁に立ち向かおうとした経験が、今の自分の原点になっていると感じます。

## 後輩に向けて、メッセージをお願いします。

チャンスを最大限に生かして、「人生でこんなに勉強したことはないな」と感じるくらい、モーレツに勉強してほしいと思います。その上で、自分ができることに全力で取り組み続ける。そうするうちに、自分のやりたいことやできること、自分や社会を変える何かが見つかるはず。今、学んでいることや読んでいる本、人との出会い、経験していることは、きっと将来の糧になります。頑張って挑戦し続けてください！



# センパイに聞く！ 山大でのあんなコト、こんなコト。



03

住吉 ユウさん  
SUMIYOSHI YU工学部 応用化学工学科、理工学研究科(工学系) 平成14年度卒 【広島県出身】  
村式株式会社 代表取締役

## 現在までの道のりを教えてください。

大学院までは、化学の分野で充実した研究を行っていましたが、自分は研究者タイプではないと感じていました。在学中からおぼろげながら、起業したい、大好きな仲間と一緒に働きたい、自分たちの生き方で世に出てみたいという思いを抱いていました。IT業界での起業を目指したのは、もともとインターネットが好きで、可能性を感じていたから。ネットを通じて世界に繋がることができる、世の中に飛び出してみたいと強く思っていました。卒業後、民間企業に就職し、システムエンジニアとしての経験を積んだ後、仲間とともに思いきって起業しました。

## 現在取り組んでいることについて、教えてください。

現在、力を入れているのは、主に鎌倉に拠点を構えるIT企業やクリエイターなど、さまざまな法人・個人で連携して地元鎌倉を盛り上げようという「カマコンパレー」という活動です。月に1度、地域を盛り上げようとするユニークな活動をしている人たちが、100人を超える観客の前でプレゼンテーションする「カマコン定例会」を行い、新しいアイデアや人のつながりを生み出しています。過去2年間に20~30件ものプロジェクトが生まれています。県外など外部からの見学者も多く、毎回好評を博しています。

## 今のお仕事に活かされている、学生時代の経験を教えてください。

原点は堤宏守先生の研究室です。先生は、化学以外に情報系にも詳しく、研究室はインターネット環境も整っていました。産学連携の取り組みも熱心にされていたため、インターネットやビジネスについて幅広く学ぶことができました。当時、研究室の先輩たちとよくベンチャーについて話をしていました。院生のとき、ベンチャー企業を立ち上げようと、工学部の観点から事業を企画し、当時の広中校長にアドバイスを受けたこともあります。

## 後輩に向けて、メッセージをお願いします。

大学時代、「おもしろいこともなき世をおもしろく」という高杉晋作の言葉に出会い、衝撃を受けました。それまで受け身でどこか斜に構えていた自分の人生を大きく変えてくれました。山口は、松下村塾をはじめ、何かを変える原動力のある土地。そこで学べることは、とても誇らしいことです。皆さんも、本や映画を見たり、旅やイベントに参加したり、自分の世界を広げることにどんどんチャレンジしてほしいですね。それから、自分を成長させるためには、恋愛経験が何より大事だと思います！



04

金山 愛美さん  
KANAYAMA MANAMI経済学部 観光政策学科 平成23年度卒 【山口県出身】  
ANA(全日本空輸) 客室乗務員

## 現在までの道のりを教えてください。

外国人の親族がいたため、小さいころから語学や異文化交流に興味を持っていました。高校では国際情報科を選択。オープンキャンパスで観光政策学科に魅力を感じたことから、AO入試で山大に進学しました。合格後は、英検2級を取得。在学中は英語の勉強に力を入れました。航空業界への就職を目指したのは、母の勧めから。地上係員や客室乗務員に憧れを抱くようになりました。そこで、3年次からは専門的な勉強を開始。週に一度、福岡の専門学校に通い、ダブルスクール形式で、専門知識とスキルを身に付けました。現在は、国内外の路線の客室乗務員として全国を飛び回っています。フライトでは、国を超えて、たくさんのお客様や尊敬する同僚たちと出会い、色々な話を聞くことで、いつも刺激を受けています。そして、自分も大好きな「旅行」の中で、お客様の思い出作りに参加できることが大きなやりがいです。ステイ先では、各地のおいしい食事やお酒を堪能することも楽しみのひとつ。オンも、オフも、充実した毎日を送っています。

## 在学中の思い出を教えてください。

在学中はバレーボールのサークルに所属していました。2年生のとき、サークルの仲間と七夕祭に出店しようと計画したものの、書類の申請が間に合わず、出店中止となりました。そこで、急遽フリーマーケットという形で参加しました。余裕を持った行動が大切だということを痛切に、忘れられない経験です。

## 今のお仕事に活かされている、学生時代の経験を教えてください。

アルバイト先の旅館で接客の基本を学んだこと、サークルで仲介役を経験したこと、人生初の海外旅行に一人で行ったことなど。社会人も含め多くの人の関わりの中で、コミュニケーション能力を高めることができました。

## 後輩に向けて、メッセージをお願いします。

勉強にせよ、課外活動にせよ、最初から無理だと諦めずに、何でも興味を持って挑戦してください。時には思うようにならず、悩み苦しむこともあるかと思いますが、でも、つらい時こそ、成長のチャンス。原因を探るためにも、考え、とことん自分と向き合ってください。そのうちに対処法が見えてくるはず。周りには支えてくれる仲間がいます。つらいときは、友達と遊んで気分転換をすることも必要です。そして、何よりも大切なのは楽しむこと。楽しみながら取り組むうちに、出会いや視野が広がっていきます。出会いを大切にしながら、充実した学生生活を送ってください！



## YU-PRSSとは?

ユープラス

広報誌「YU-INFORMATION」や、  
 山大的WEBサイト内の「キャンパス  
 ライフ」ページなどの制作に携わる、  
 山口大学広報学生スタッフです。

YU-PRSS(\*Yamaguchi University Public  
 Relations Student Staff)の略は、「山大学生のあなた  
 (YOU)にも、そうでないあなた(YOU)にもプラスになる  
 情報を届けたい」との想いを込めてつけられました。  
 現在24名のメンバーで広報活動を行っています。



### YU-PRSSメンバー

中富 真奈	原田 海沙	宮地 弘子
長岡 真大	横山 侑里	木村 将也
倉増 沙和	浅沼 萌	徐 睦美
田里 翔太	近藤 守	房野 仁美
武田 一志	佐能 潤子	北山 育実
小形 智樹	伊藤 姫花	鳥田 苑実
中山 拳太郎	大奥 新	家永 美美絵
篠田 侑果	中矢 早映	佐藤 加奈

感想、取材依頼など、YU-PRSSに  
 お気軽にメールしてください!

今月号についての感想や、今後こういった特集はどう  
 だろうといったアイデア、こんな人を取材してほしい  
 といったご要望も受け付けています。また、「私たちが  
 取材してほしい」といったサークルやグループも大歓迎  
 です。たくさんのメールをお待ちしています。

E-MAIL: campus@yamaguchi-u.ac.jp

「キャンパスライフ」はコチラをCHECK! >>  
[http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/  
 ~campus/campus\\_life%20\\_web/](http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~campus/campus_life%20_web/)

## 01 新入生歓迎フェスティバル2015 ~始まりの合図~

4月4日(土)、クラブ・サークル  
 等の勧誘を目的とした「新入生  
 歓迎フェスティバル2015~始  
 まりの合図~」が、山口大学吉  
 田キャンパスの共通教育棟一  
 帯をメイン会場として開催さ  
 れ、新入生・在校生合わせてお  
 よそ3,000人が参加しました。  
 在校生は、一人でも多くの部員  
 を獲得しようと来場者一人ひとりに積極的に声をかけ、ピラやチラシを配布していま  
 した。新入生も初々しい表情で、団体の活動内容について真剣に質問し、実際に体験する  
 などして自分に合うクラブ・サークルを選ぼうとしていました。



また、共通教育棟エントランス  
 ホール前に設けられたPRステ  
 ージでは、各団体の実演を含めた紹  
 介が行われ、ステージ周辺には、  
 各サークルのパフォーマンスを見  
 ようと多くの新入生が集まってい  
 ました。

## 02 あゆの日まつり

6月7(日)、山口市ふしの川の河川敷で第四回ふしの川あゆの日まつりが開催されま  
 した。このまつりでは山口大学と漁協が共同開発したミカンの香りがほんのり香る  
 さわやかな風味のする  
 柑味鮎の塩焼きや鮎め  
 しの販売などが行われ、山口大学のキャラ  
 クター、ヤマミも登場  
 し柑味鮎の宣伝や子ど  
 も達と握手や撮影をし  
 ながら会場を盛り上げ  
 ました。イベントでは大  
 人と子どもに分かれて  
 の鮎のつかみどりもあり、参加者はとても楽し  
 んでいました。



## YU-INFORMATION

ワイユーインフォメーション  
 山口大学広報誌 Vol.123

山口大学総務部広報課

〒753-8511 山口県山口市吉田1677-1  
 TEL:083-933-5007 FAX:083-933-5013  
 E-MAIL:sh011@yamaguchi-u.ac.jp  
 URL:<http://www.yamaguchi-u.ac.jp/>

## 03 五大学学生競技大会壮行式

6月10日(水)、第66回中国五大学学生競技大会夏季大会壮行式が、第一体育館で行われました。式には計13の部活が集まり、各代表が夏季大会に向けての意気込みを語りました。

式では、岡正朗学長、体育会会長らによる激励の言葉があり、また応援団も駆けつけ、力いっぱいの声援がありました。今季の大会は、6月20日(土)から、水泳部を皮切りに順次開催されました。



## 04 てくてくツアー



7月4日(土)、山口大学吉田キャンパスにおいて、てくてくツアー夏の特別企画が行われました。これは、山口大学地域未来創生センターのキャンパスてくてくツアー学生スタッフが中心となり企画したもので、「見て、触れて、学べる」といったテーマのもと、山口大学を探検するというものです。「馬となかよしコース」と「3Dプリンターコース」の二つが用意され、当日は地域の親子連れ約70人が参加しました。

参加者は、山口大学の実験農場の田を見学したり、大学のブドウ園を見学してまわりました。子どもたちは自分より大きな馬に怖がりながらも、皆興味深々に餌やりを楽しんでいました。

## 05 第43回七夕祭

7月11日(土)、山口大学吉田キャンパスにおいて、七夕祭が開かれました。七夕祭とは寮生・元寮生による七夕祭実行委員会が企画・運営をする一大イベントで、当日は約22,000人の来場者がありました。部活やサークルによる模擬店、ミスコンや弾き語りといったステージ企画など学生全体が一丸となって七夕祭を盛り上げていました。



8 AUGUST

06 木

夏季休業開始  
【～9月30日(水)】

09 日

オープンキャンパス  
(吉田地区)

人文学部・教育学部・経済学部・  
理学部・農学部・共同獣医学部・  
国際総合科学部

10 月

オープンキャンパス  
(小串地区) 医学部  
(常盤地区) 工学部

9 SEPTEMBER

08 火

AO入試(～9月11日(金))

30 水

山口大学大学院学位記  
授与式・大学院修了式・  
大学卒業式  
山口大学大学院入学式

10 OCTOBER

01 木

後期授業開始

03 土

第3回ホームカミングデー

「志」つなぎ伝える  
二百年



2015年、山口大学は創基200周年を迎えました

山口大学は、長州藩士・上田鳳陽により創設された「山口講堂」をルーツとし、明治・大正期の学制を経て、1949年に地域における高等教育および学問研究の中核たる新制大学として創設され、2015年（平成27年）、創基200周年を迎えました。山口大学は、地域に根ざした大学として、さらなる充実と飛躍を期し、次なる200年をより有意義なものにするための記念事業を計画しています。

2015年度

創基200周年NEWS

山口大学では、200年の歴史を多くの皆様に伝えるための講演会、シンポジウム、また、地域のニーズに合わせた様々な行事、学生の企画によるイベント等の各種記念事業などを実施しています。ここでは、それら創基200周年に関連した最新ニュースを紹介します。



山口大学  
キャラクター  
「ヤマミィ」

## 山口大学創基200周年記念式典を開催

平成27年5月30日（土）、山口大学創基200周年記念式典が山口市内のホテルにおいて開催されました。当日は、政界、経済界、県知事、関係市・町長、卒業生、在校生、教職員等約270人が出席し、式典では、岡正朗学長からの式辞が述べられ、続いて、安倍晋三内閣総理大臣からビデオメッセージにより



お祝いの言葉がありました。その後、下村博文文部科学大臣（代読：吉田大輔文部科学省高等教育局長）、河村建夫衆議院議員、林芳正参議院議員・農林水産大臣、村岡嗣政山口県知事からの祝辞、学生代表として、船山拓哉第61期山口大学体育会会長（経済学部4年）からの挨拶がありました。

続いて、創基200周年記念事業の一環として、学生支援の充実のために行っている募金活動の寄附者銘板（レプリカ）の披露があり、多大なご支援をいただいた企業・団体・個人の方々に、岡学長から感謝状と記念品の贈呈が行われました。

式典の後半では、本学教育学部を卒業し直木賞作家の古川薫さんによる「わが連想拡大のルーツ」と題した記念講演が行われ、式典は盛況のうちに終わりました。



式典に引き続き、祝賀会が、本学吹奏楽部によるお祝い演奏の中、約290人の出席のもと盛大に催され、岡学長の挨拶に始まり、来賓の岸信夫衆議院議員、江島潔参議院議員、北村経夫参議院議員、山際大志郎衆議院議員・経済産業副大臣（本学農学部卒）、包括的連携・協力協定を

結んでいる市・町を代表して渡辺純忠山口市長からの祝辞がありました。

その後、岡学長、福本陽平山口大学同窓会会長らが来賓とともに法被姿となって山口大学ブランドの日本酒「長州学舎」で鏡開きが行われ、田村浩章山口大学創基200周年記念募金推進会会長（宇部興産株式会社相談役）による乾杯のご発声のもと、懇談が始まりました。

懇談中には、本学と学術交流協定を結んでいる中国の重慶理工大学、タイのカセサート大学による祝賀スピーチや、インドネシアのウダヤナ大学、台湾の大葉大学、淡江大学からのお祝いのビデオレターの紹介、メンネルコールOB会（昭和21年山口大学の前身である山口師範学校で誕生した男性合唱団）による山口大学学生歌などの合唱、本学のイメージキャラクター「ヤマミィ」の紹介、出席者全員による「鳳陽寮寮歌」の合唱などが行われました。

最後に、福本同窓会会長による万歳三唱が行われ、祝賀会は大盛況のうちに終了しました。

創基200周年の詳細はここでCHECK! >> <http://www.yamaguchi-u.ac.jp/200th.html>